

三小の習熟度別少人数指導

	チャレンジコース（上位）	じっくりコース（下位）
課題把握の 場面	<p>○実生活の想起や体験活動を通して問題提示</p> <p>☆自作の活用問題</p> <p>☆絵図の提示</p> <p>○既習問題との類似点や相違点を踏まえた課題（めあて）の設定</p> <p>☆各自で見通し</p>	<p>★絵図や具体物の提示</p> <p>★問題の数値の工夫</p>
課題追究の 場面	<p>☆各自で解決方法を選択→解決→別の方法</p> <p>○根拠を明確にした考え方を交流</p> <p>☆多様な考え方の中から取り上げる考え方を精選</p> <p>☆友だちの考え方を別の児童が説明</p> <p>○明確な視点を与えて比較・検討</p>	<p>★全体で見通し</p> <p>★全体で同じ考え方で解決→別の方法</p> <p>★どの児童にも身に付けさせたい考え方を、図や式を用いて複数の児童が説明</p>
まとめの 場面	<p>☆本時の学習を振り返り、児童の言葉でまとめる。</p> <p>☆発展問題まで取り組み、応用力を伸ばす。</p>	<p>★本時の授業を振り返り、キーワードを与えてまとめる。</p> <p>★既習の問題と同レベルの問題に複数取り組み、基礎・基本の定着を図る。</p>

【各コースの共通部分と相違部分】